

加入事業所 179 事業所 参加率 (事業所) 参加人数 113 人
出席 97 事業所 54.2% 回答者 65 部 回収率 57.5%

集計結果

1 本日の居宅介護支援部会で取り上げた内容は参考になりましたか？

① 大変参考になった	45	69.2%
② 少し参考になった	16	24.6%
③ あまり参考にならなかつ	2	3.1%
④ 参考にならなかった	0	0.0%
⑤ 未記入	2	3.1%
	65	

2 参考になった点

- ・ケアマネジャーとして認知症の人に向き合う気構えを教えてもらった。
- ・制度面など、改めて見直すことができました。
- ・MC I に早期に対応することに改めて気づくことができた。重度の人と関わる人が多いので忘れていた思考だった。
- ・自立支援医療費制度について再確認ができた。
- ・認知症の患者さんに対して、自立支援医療につなげることは、あまり聞いたことがなかったので勉強になりました。
- ・東京都モデル事業について報告で、ケアの領域を作り出すことについて興味を持てた。
- ・精神障がい者への支援（通院、手帳交付の流れと受けられるサービス、後期高齢者医療費制度が利用できることなどが参考になった。
- ・認知症の方の施策について理解が深まった。
- ・認知症の疑いのある方にたいしてケース毎に方法を教えてもらえたのは良かったです。
- ・認知症診断の仕方とデメリットを知る事が出来、又アプローチ方法としてのヒントもありました。
- ・プログラムに対してやらないよりやった方が当然良いし、それで良いと評価結果が出るのも当然だと思う。

もっと具体的な効果の変化Bグループはどうだったのかの中間報告も欲しいと思いました。

- ・足立区の認知症施策が法令によって色々出来ることを知った。
- ・BPSDを知らなかったので 参考になりました。
- ・相談窓口や、利用できる資源についてわかりました。
- ・認知症のある方の初期対応は難しい『どこも悪くない』と言い張る方の場合は特に難しい。離れた家族をどう巻き込んでいくか日常的に会うことが少ない場合、その方の姿が本当の姿が見えていない場合が多く まだまだそれ程ではないという受け入れが進まない

家族への対応について受診拒否が無い限り 物忘れ外来から『初期集中支援チーム』『アウトリーチチーム』への連携と

『協働』について出来ることをやる

- ・認知症患者がシステム化した点
- ・認知症施策について
- ・BPSDケアプログラムについて少し知れた事
- ・後期高齢者医療手帳 1・2級取得者適用忘れてました
- ・認知症に対する取り組みをもっと密に連携して行なっていかなければと再確認しました。
- ・自立支援医療費制度、手帳制度について
- ・足立区の認知施策について改めて確認することができた。
- ・認知症の対策の仕方、特にサービスに対しての拒否のある方等、推進事業の中間報告等
- ・認知症の高齢者が増える中で ケアマネージャーがどのような関わりでいくかで その方の生活が変わる重要な関わりを感じた。
- ・精神系の話も聞けて良かった。
- ・資料2の早期治療の相談先が分かりました。
- ・足立区の認知症施策と取り組みについて多少理解出来た。
- ・BPSDケアプログラム中間報告について知ることができてよかったです。

- ・もの忘れ相談の有力性。BPSDプログラム。
- ・自立支援医療、精神障害者保健福祉手帳制度、後期高齢者医療制度、手帳1～2級取得していると65才以上が対象。
- ・地域包括ケアシステム推進担当課岡崎さんの話よかった。区や包括でやっていることが整理されていてわかりやすかった。様々なBPSDがあると思いますが、認知症のケアに強くなることは良いことだと思います。→在宅の限界をひきあげる？
- ・自立支援医療制度について詳細がわかり参考になった。
- ・手帳や自立支援医療制度の知識を深められた。BPSDケアプログラムの内容を知ることができた。
- ・足立区の認知症支援施策について
- ・早期発見、治療に繋げる為にケアマネジャーができること（ケアの領域をつくりだす）
- ・認知症の方の推計値算出の方法。地域で対応を共有して連携していくことの大切さ。

BPSDプログラムについて認識がなかったので新しく知れてよかった。在宅の継続を目的としている事を聞いて今後の高齢化に向けての地域

包括ケアシステムにつながると思った。

確認の良い機会となりました。

足立区の現状と利用できる制度を理解できた。大内病院のMSWと顔の見える関係が作れてよかった。BPSDプログラムの効果がわかって

やってよかった。

早期治療が大事

認知症初期集中支援事業 認知症アウトリーチ事業を活用したい。

自立支援医療費制度、精神障害者保険福祉手帳制度について今度もっと学んでいきたい。

認知症の方への支援は日々悩んでいる。地域の認知症の理解が広まり活用できる社会資源が増えていることが心強い。

認知症支援施策の事業確認や医療費制度の確認ができてよかった。認知症ケアプログラム推進事業を知らなかったので勉強になった。

グループでの話しも他の意見や対応など参考になった。

認知症利用者への対応。在宅での認知症ケアはまずその人に向きあうこと。

認知症の方が増えてくるので、認知症に関しての振り返りや区としての取り組みの内容が理解でき勉強になった。

後期高齢者医療制度で一定の障害がある65歳以上の方が対象となるのは知らなかった。とても参考になった。

参考にならなかった点(理由)

- ・ケースバイケースの内容が多いと思います。実例（成功例か上手くいかなかった例）が多い方が色々考えられると思います。
- ・その人の満たされないニーズを読み解く→もう少し具体的な内容を知りたい。（BPSDケアプログラム）
- ・認知症の人の地域生活を支援するケアプログラムのプログラム内容が示されなかったため、結論との因果関係が実感できなかった。
- ・大内HPの方の説明のお時間が短く勿体なかった。
- ・BPSDケアプログラムがある取り組みをしている事はわかったが その内容がよくわからなかった。もう少し内容をしりたい。
- ・プログラムの内容がシートでわかるといいが 見えない話をされても 言わんとしている事はわかるが。。
- ・ケアプログラム推進事業の具体的な内容がわからなかった。
- ・認知症の人の地域生活を支援する その具体的事例を発表して欲しかった。
- ・すでにわかっている事だった
- ・資料3BPSDプログラムの結果はわかりますが、内容を多少おしえて頂けたら良かったです。
- ・ケアプログラムについて良くわからなかった。
- ・BPSDケアプログラムの内容についてもう少し時間があれば良かったと思った。あまりにも表面的なものだけで具体的なプログラムが見えなかった
- ・“自立支援医療制度”そのものが東京都のみの制度という誤解を招いたのでは？非課税世帯への更なる助成の部分が、東京都独自の制度であることが伝わっていないかもしれない。また身体科医療機関については、通常の自己負担で受診可能であることを補足していただいた方が良かった。
- ・BPSDケアプログラムの内容が知りたい。

どの内容も時間が限られているため、詳しい説明とまではいかなかったかなという印象を受けました。BPSDプログラムは実際に参加していたので概要がわかったが、そうでない方は良くわからなかったのでは。プランの立て方（どのような目標、対応をたてるか）などの詳しい内容を

お話いただけたほうが良かったと思います。

その他(意見感想など)

- ・認知症の人の症状にとらわれ過ぎていて、実にその人の奥底にある今までの人生の背景を無視している感じがする。
 - ・ケアプログラム推進事業について詳しく知りたい。
 - ・もの忘れ相談の周知の仕方をもっと工夫してほしい。名称を変えればどうかと意見が出ました。
 - ・意見交換の時、家族、本人への対応に困っていることや、医療につなげることに困っていることを感じる事ができた。
 - ・グループワーク（他のケアマネとの）交流はとても良い機会になった。
 - ・グループワーク実施・主任CMの場合のCMNOを持参する事の前告知がなかったので戸惑いました。
 - ・グループワークのテーマが解釈しづらかった。
 - ・BPSDケアプログラムについて詳しく知りたい。
 - ・グループでの話がいまいち分からなかった。ボードに書いていただければ。。。
 - ・グループワークあった点が良かったです。今後も講座だけではなく グループワークを取り入れて下さい。
 - ・3名の講師の方 それぞれのテーマをもっと掘り下げて聞いてみたかったです。
 - ・何分まで小グループで話したらいいか初めに言われていなかったのと いきなり小グループで話してくださいと言うのではなく 次第にのせるか今日の進め方で説明して欲しかった。
 - ・BPSDで悩まされる事は多いですが 認知症をケアする為にチームで向き合い対応を検討しあう大切さを感じました。
 - ・時間を18:30~か19:01~にして欲しい
 - ・多剤性症候群もかなり患者を重くしている気がする。また日々薬を共有しすぎる点がある。
 - ・グループワークでのケアマネ個々の認知症の方のケア・支援について話があり、様々な意見を聞く事ができません。
 - ・内容が盛りだくさんだったので自立支援医療、精神障害者保健福祉手帳制度だけで再度研修を受けたいと思いました。（具体的な事例と共に）
 - ・①キーホルダー1200人 50~60人みつまっているんですね。②BPSDモデル→足立区・世田谷区・武蔵野市③最初になを話し合えばよ
いのか、よくわかりませんでした④部会のパソコン、プロジェクター不具合多い。
 - ・早期発見する周りの方の理解気づきの力をつける。認知症の方の意思伝達しづらいことへのこちらの汲み取り方等考える機会になった。
 - ・認知症について興味を持つことが大切という話があり、その通りだと感じた。BPSDの背景を考えるとこの事は理解できるが、グループワーク内では口数が少ない人だと気持ちを伝える事も難しいので、やはり理由がわからないという話があり、チームケアで多角的視点でみる事が必要だと改めて感じた。
 - ・認知症施策について簡潔にまとまっていて解り易かったのと、自立支援から手帳制度までがわかり良かった。BPSDケアプログラムについてとても興味をもちました。もう少し詳しく知りたいと思いました。
 - ・この会場、人数でのグループでは討議は正直聞き取りにくい（周りの声があり）苦痛であった。
 - ・BPSDに着目して新しいケア戦略をつくる事に共感を得ました。又、BPSDの意味を見直すことの大切さ感じました。
 - ・後半、グループワークの時間をもてたことは有意であった。互いの悩みも表出でき改めて勇気喚起できた。
- 今まで介護職として働いてきたので、認知症については知識を持っていましたが、施設を出ると認知症の理解や考え方が大分違うのだと感じています。在宅支援に関わる人にももっと認知症の人とたくさん関わって色々な認知症をもっと知ってほしいと思いました。
- 認知症理解を含め対応、一緒に過ごしていける様がんばろうと思った。
- もう少しケアプログラムについて話してもらいたかった。
- 区の取り組みについての情報が得られて良かった。

今後、部会で取り上げて欲しい内容

- ・実施指導の実際について
 - ・BPSDケアプログラムについて もっと詳しく学びたいです。
 - ・特養の点数化の内容について 区から説明して欲しい。
 - ・BPSDケアプログラムとはどんな内容か。
 - ・精神疾患の利用者や精神疾患の家人へ対策等について
- 日々の実践に役立つテーマをお願いします。
- 実地指導にて指摘された内容について詳しく教えてほしい。